

キャッチ番組審議会からのお知らせ

2022年7月に「2022年度 第1回 番組審議会」が開かれました。審議会当日、台風接近が予想されていたため、安全面を考慮し書面開催となりました。各委員の方には番組を視聴いただき、コメントをいただきました。審議委員のお名前と会議の内容は以下の通りです。

■キャッチ番組審議委員

【刈谷市】安藤 敏子 委員／上杉 真輝 委員 【安城市】神谷 澄男 委員／山本 美由湖 委員 【高浜市】廣田 久雄 委員／山内 真美 委員
【知立市】大野 心一 委員／原田 友紀 委員 【碧南市】井本 典子 委員／森下 敏弥 委員 【西尾市】河合 弘美 委員／小塚 義人 委員長

審議番組 KATCHスペシャル「FOR GOOD BAIT～自分らしい人生の終い方～」

自分らしい生き方・そして人生の終わり方とはなにか？

知立市のジャズ喫茶「グッドベイト」のマスター神谷年幸氏の最期を見つめたドキュメンタリー（75分）

議 題

- ・番組テーマである「人生の生き方・終い方」に見合った内容となっているか？
- ・地域住民がキャッチに求めるドキュメンタリー番組とは

●小塚 委員長

病氣と闘いながら、亡くなるまでジャズを愛した人だと思った。自分の人生がもう長くないと分かって、神谷さんはジャズを愛し続け、お客さんにもジャズの素晴らしさを伝えたい、店を続けたいという思いが伝わってきた。番組のテーマである、「自分らしい人生の終い方」に見合った内容になっていると感じた。

●安藤 委員

数年間にわたり、さらに神谷さんが亡くなってからの1年間までという長い期間のドキュメンタリーで、はじめは75分は長いな…と思った。しかし見始めたらあっという間に感じた。神谷さんと奥さんが一緒に病気に向き合っている数年間のリアルな気持ちや生き方が伝わり、とても素晴らしい番組だったと思う。今後は、農業や漁業の後継者問題を含めた現状やこの地域に働きに来ている外国の方やその家族を追ったドキュメンタリーの制作を期待している。

●上杉 委員

取材対象者だけでなく、関わる人に対しても深く取材をしていて、より対象者の生き方を表現できていたのではないかと感じた。過去の映像や、最期に近づきながらも好きなことに向き合い笑顔で過ごす様子など、神谷さんの人生がどういったものだったかが、全く知らない人でも分かる内容で、テーマに非常に合致していたと感じる。

●神谷 委員

神谷さんは世間一般の常識や価値観にとらわれず自分らしく生きることを選び、それを亡くなるまでつらぬき通した人であったが、番組はその部分をよく伝えていたと感じる。この番組の最大の魅力は、自分の人生に向き合って日々を誠実に生きようとする神谷さんの姿勢と、他人の喜びを自分の喜びにできる人柄そのものにあると感じる。番組はやや饒舌で放送尺が長い、上記をしっかりと伝えていたと思う。今回のように人物を取り上げる場合は、その人がなぜそのような生き方をすることができるか（できたか）をしっかりと掘り下げてから番組制作に着手してもらいたい。

●山本 委員

75分の番組尺が長いと感じたが、見終わってみるとあっという間で、見応えがあった。地元ならではの興味深い内容はつい見えてしまうと思う。今後も地元ならではの番組制作に期待したい。

●廣田 委員

ジャズを愛する神谷さんの生き方やこだわりなど周りの人々に愛されていた様子がよく分かる内容だった。今後は、普段の生活では見ることができない内容のドキュメンタリーの制作を期待している。

●山内 委員

ジャズという音楽を通して、神谷さんの生き様がしっかり伝わってきた。神谷さんの人柄なのか、関わる人や、制作したスタッフの熱い思いが伝わってきた。ドキュメンタリーといえば、知らない土地の知らない人の番組というイメージだったが、地域にもこのようなドキュメンタリーがあるのだと改めて知った。方言にも馴染みがあり、より身近に感じられる良い番組だと思った。

●大野 委員

約半世紀にわたるジャズとの人生が展開されており、ジャズへの思いや知識がお客さんを魅了していた。手術・投薬の効果もあったかと思うが、神谷さんの生き様、笑顔が幸せを振りまき病魔を遠ざけたと思った。その源が「ジャズ」そのものだったと分かる。周りの人々のサポート、そして何よりも奥さんの存在が大きいと感じた。ジャズに命を懸けた神谷さんの人生が披露されている番組であった。

●原田 委員

好きなことをして生きていく人生は難しいが、神谷さんは心の底から人生を楽しんでいると思った。病氣と共存し1日1日を大事に生きている姿は、自分らしい人生の終い方だと感じた。今後は、視聴者の心に残り、心情の変化を与えられるものや、地域に馴染みがあり興味がわくようなドキュメンタリーの制作を期待している。

●井本 委員

自分の好きなことができ、幸せだという様子が伝わってきた。番組のテーマである、「自分らしい人生の終い方」に見合った内容になっていると感じた。今後は、「こんなことが地元で!？」とびっくりするような業種や会社のドキュメンタリーが見てみたい。

●森下 委員

「人生の生き方」としては神谷さんの今までの人生をよく伝えられていて、長い視聴時間にも関わらず、興味深く視聴できた。「終い方」については映像にどう表現されていたのか理解できなかった。しかし、何かに熱中し最期を迎えたということはよかったと思う。今後ともこのような番組づくりを期待している。

●河合 委員

テーマに見合った内容になっていると感じた。しかし、遺体が映し出されたことや亡くなった後の放送尺が長いことが気になった。今後は、スポーツや製造関係などを深掘りした、新しい発見や感動があるドキュメンタリーの制作を期待している。